

将来の公共施設の在り方について考えました

平成24年度からスタートした町のまちづくり計画「第5期上士幌町総合計画」において、初年度の10テーマの一つと位置づけている「公共施設の在り方」を考えるワークショップ(体験型講座)が、6月27日に商工会館で開かれました。



◆「まちの整体」とは

第1部では、アドバイザーの北海道大学大学院工学研究院の森傑(すぐる)教授により、道内各地の事例を通して、『まちの整体』という森教授自身のまちづくり指針を話されました。

「町は人間のカラダと同じ」と唱

える森教授によると、これまでの日本のまちづくりは大都市をモデルとして、自分たちの町の規模に見合わない「不自然な筋肉増強」を進めてきたが、本格的な人口減少期を迎える30年先を見越しながら、「自分たちの町の”骨格”を見直し、町のひずみを整える、全体の作業が必要である」ことを具体的にわかりやすく話してくださいました。

この作業ではまず地図を使って、私たちが普段町をどう利用しているかの認識を共有し、「町の骨格」のイメージをつかめるようにしました。

更に「30年後にはこうあってほしい」という理想を書き込んでいくにつれ、町の在り方のひずみを治す「まちの整体」という意味が、次第に参加者に理解されました。

今回の参加者は、町内の事業者や商工会メンバー、保育所や教育関係者のほか、公共施設にかかわりを持つ人たちが中心でしたが、今後も町では子どもたちや高齢者など、さまざまな人たちを巻き込んだ「まちづくり作業」を予定しています。



※「公共施設の配置等ランドデザイン作成」に関するお問い合わせは、役場企画財政課企画担当(内線 265)まで

◆みんなで公共施設について考える

第2部では、森教授の提起する「まちの整体」作業を理解するために、4つのグループに分かれて意見交換しました。

第28回オツパイ山祭りが盛況のうちに開催されました
「第28回オツパイ山祭り」が、上音更の東泉園で開催されました。
お祭りでは伝統の儀式「カムイノミ」が厳粛なムードのなか行われ、それに続いて帯広カムイトウポポ保存会や白糠アイヌ文化保存会のみなさんらが、「チロンヌップリムセ(狐の舞)」や「クウリムセ(三の舞)」などの古式舞踊を披露しました。
その他、会場では儀式料理の試食としていなぎびご飯や鹿肉が振舞われ、狩猟体験コーナーでは子どもたちが手作りの三矢を使った的当てを体験しました。

7月1日



100歳おめでとう！

6月25日

鈴木トシエさんは6月25日で満100歳を迎えられ、入所中の特別養護老人ホームにおいて、竹中町長から祝状が贈られました。施設長から花束の贈呈も行われ、家族や入所者の方々と一緒に長寿のお祝いをしました。

平成24年度上士幌消防団消防演習が6月24日、上士幌町航空公園で開かれ、小隊訓練やポンプ車操法、消防車5台を使った一斉放水などを披露しました。



6・7月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

今年は各地のウタリ協会のみなさんや一般の見学客が例年以上に詰めかけ、大変賑やかなお祭りとなりました。



7月10日

平和追悼献花式



高台公園の平和の塔前において、平成24年度平和追悼献花式が行われました。会場には竹中町長をはじめ

じめ46名の方が出席し、異国の地に没した24柱の英霊のご冥福を祈り黙とうと献花がされました。

7月12日

上士幌消防署から初の全国へ！



▲工藤達人消防士（左）と小野内英人消防士（右）。2人は8月7日（火）に東京で開催される「第41回全国消防救助技術大会」に出場します。

第41回全道救助技術訓練指導会に出場した上士幌消防署職員の工藤達人消防士と小野内英人消防士が、ロープ応用登はん種目（高さ15メートルのロープを2人で協力して登はんする競技）で2位の好成績を収め、上士幌消防署初の全国大会出場を果たしました。

工藤消防士は「応援してくださるみなさんのためにも、全国大会で良い成績を収め、戻ってきた際は町民の安心・安全をこれまで以上に守れるよう頑張りたい。」と意気込みを語り、小野内消防士は「日々の訓練は町民のみなさんのためですが、全国大会に出場

するからには、先輩の意思を受け継ぎ、2人のチームワークで上位成績を目指し頑張りたい。」と大会に向けての抱負を語ってくれました。

7月14日

猿回しがやってきた！



山口県岩国市を拠点に猿まわし芸を行う「猿舞座」の公演が、ふれあい公園を会場に開催されました。

奈良時代より馬の守護神として考えられてきた猿は、神の使いとされ、見るだけで「魔が去る」と言われて縁起のいいものだそうです。一生のうち2回猿回しを見ると幸せになれると言われています。

公演当日は気温が高かったにも関わらず、猿の夏水（なつみくん）は「輪くべり」などの芸を見せてくれました。

また、猿まわし師の村崎耕平さんとのやりとりがほほえましく、詰めかけた400名近い観客のみなさんからは絶えず笑いが溢れていました。

地域を変えてく新しいカ 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 牛たちの可愛さに目覚めました

記: 地域振興推進員 井上 智彦 としひこ



みなさん、こんにちは。今年6月にこの町に来たばかりの、ホヤホヤの町民です。とはいえ、来町してから1カ月間、とにかく町のことを知ろうと、町内や周辺地区を駆け回っておりました。もともと出版社に在籍して雑誌編集を

していたため、人と会って話すことは大好き。東で羊を育てている人がいると聞けば駆けつけ、南で変わったじゃがいもを作っている人がいると知れば、畑を覗きに行くという日々でした。

そんな生活の中で、何に目覚めたかと問われれば、それは「牛への愛」と即答できます。埼玉で牛を見かけることは皆無だし、これまでに牛を見た記憶といえば、小学生時代に行った千葉のマザー牧場くらい。ところがここでは、近づくたびに振り返る牛たちと毎日、柵越しに挨拶を交わしています。絞りたての牛乳や焼肉のおいしさに感動しつつ、牛のウンコの匂いにもようやく慣れ、さあよいよ可愛い牛たちの魅力をどう都会の人間に知ってもらおうか、作戦を練っている最中です。アイデア提供お待ちしております。

JA上士幌町が危険物安協連 合会会長表彰を受賞しました



JA上士幌町は、危険物施設の事故防止に努め、無事故無違反である功績が認められ、5月24日に北海道危険物安全協会連合会会長表彰を受賞されました。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲パフォーマンスで見事優勝した3A

記念すべき第50回上高祭が7月7日(土)・8日(日)に行われました。今年の上高祭も大勢のお客様に足を運んでもらうことができました。

1日目の仮装パレードは3年A組の、アラジンテーマにしたダンスが優勝を飾りましたが、他の学年も3年

生に負けないダンスを見せ、会場のふれあい公園は大盛り上がりとなりました。

2日目に高校を舞台に催された「上高プラザ」は、昨年を大幅に上回る300人近くのお客様が訪れました。今年が目玉のお化け屋敷は160人以上のお客様が訪れ、大行列となりました。格技場で行われた上高プラザの出し物では各クラス工夫を凝らし、多くのクラスで行列が出来ました。また1年生の出し物では、予想以上の人数に、風船が売りきれになるなどのトラブルもありました。

今年の上高祭は多くの町民に上高を理解してもらう機会となりました。来年も今回以上の来客者数を目指して頑張りたいと思います。

7月7日(土)・8日(日)
今年の上高祭も大成功!

文責 岩間輝

町民文芸

川柳

短歌

けふ一日自由なる日とぞ奮起して墨磨りおれば雷鳴り渡る
 ペダル踏み炎天の中帰り来つ噴き出す汗を拭ふも清し
 今朝の新聞に満月地球の影に入る知らずにながめをりたる夕べ
 買物に車押しゆく出合いたる同じ姿の言葉交しぬ
 夕あかりひときは明る照らしたりいまはの際のいのちのごとく
 今日をもて君燃へ失すか俄かなる風邪の臥床に目つむりたる
 寝苦しい夜に網戸がほしくなり
 豪快な音にさそわれ習う太鼓
 節電の影響受けて熱中症
 短冊に願いを込めた縁結び
 サクランボ甘くてぼくはだいたすきだ
 短冊に夢をいっばい飾りつけ
 ヤマベ釣り水の少なさ気にかかる
 電気消しみんなで見よう天の川
 小さき手我慢して押す乳母車
 盆太鼓ドッコイじゃんじゃん夏を舞う

平成24年6月末現在の人口

男 2,492人(先月比+6)
 女 2,620人(先月比+1)
 計 5,112人(先月比+7)
 世帯数 2,342世帯(先月比+8)

寄付

▶株式会社晃陽燃料上士幌支店は、6月8日にアーチ橋の保全資金として金2千円を寄付されました。
 ▶6区の松浦久右衛門さんは、6月15日にアーチ橋の保全資金として金2万円を寄付されました。
 ▶東京都の佐々木正一さんは、6月22日に町広報の振興資金として金2万円を寄付されました。
 ▶10の1区の宮内隆さんは、6月28日にアーチ橋の保全資金として金1万円を寄付されました。
 ▶NPO法人ひがし大雪アーチ橋友の会は、7月4日にアーチ橋の保全資金として金9,518円を寄付されました。

一ふるさと納税一▶原島義夫さん(東京都、金1万円)
 ▶鈴木利夫さん(千葉県、金1万円)▶濱本智子さん(東京都、金1万円)
 ▶濱本洋輔さん(東京都、金1万円)
 ▶笠原伸夫さん(東京都、金1万円)▶小林正信さん(東京都、金1万円)
 ▶本田貴宏さん(東京都、金1万円)
 ▶青木裕文さん(東京都、金1万円)▶北村富子さん(帯広市、金5千円)
 ▶吉田多几子さん(札幌市、金2千円)
 ▶盛田貞之さん(富山県、金1万円)▶駒井健一さん(千葉県、金1万円)
 ▶坂和宏展さん(大阪府、金1万円)▶柳瀬宗央さん(帯広市、金1万円)
 ▶水野山治さん(愛知県、金5千円)
 ▶奥原立夫さん(愛知県、金1万円)
 ▶畠山真知子さん(札幌市、金1万円)
 ▶入海雅美さん(岡山県、金5千円)
 ▶船橋二郎さん(静岡県、金1万円)
 ▶田中雅之さん(埼玉県、金1千円)

上士幌町民憲章

- 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

白	坂	桜	齊	薮	高	米	小	鈴	米	本	高	石
石	田		藤	根	木	森	池	木	森	間	木	川
		い	花	浩	誠	真	由		博	栞	慶	裕
馨	子	絵	一	守	也	弓	希	子	豊	樹	風	子



紙7月14日(土)の猿回しを見に行きました。当日はとても暑い日となり、芸をするお猿さんにとって大変だった様子でした。それでも頑張ってお猿さんの方と協力しあい、お客さんの期待に応えてくれました。(お猿さんを見習って日々頑張ります・・・A)

紙みなさまのご協力のおかげでNTT「フレッツ光」がサービス開始になります。紙WEBサイトが高速に表示でき、動画もスムーズに閲覧できるようになります。また、大容量のデータ通信が可能となるため様々な事業でその活用が期待できます。(古いパソコンだとその速さが実感できないので、自宅パソコンを新しくしたい・・・K)

広報.....
がみしほろ 9月号は**8月24日(金)**発行予定